

## 試験学習の取り組み方 ～ 問題集選び(中) 構成は大きく2つ! ～

「問題集の選び(上) 問題集の種類」に引き続き、問題集選びについて提案させていただきます。受験生の多くが購入される問題集には、過去問題集、模擬問題集、一問一答問題集などといった種類があります。これらの問題集の構成(レイアウト)は、大きく「見開きページに問題と解説を掲載しているもの(以下、構成A)」と「書籍の前半部分に問題のみを掲載し、後半部分に解説のみを掲載しているもの(以下、構成B)」に分類できます。

### ◆問題集の構成(レイアウト)の大分類◆

構成A	見開きページに問題と解説を掲載しているもの
構成B	書籍の前半部分に問題のみを掲載し、後半部分に解説のみを掲載しているもの

双方とも問題集としての機能は果たしていますが、特徴が大きく異なります。構成Aの場合は、ふつうに「問題を解く」ことはできますが、問題を見ながら解説を読んで理解するという「学習する」要素の方が強くなっており、学習参考書の延長上にある「学習型」の問題集であるといえます。一方、構成Bの場合には「学習する」というよりも「問題を解く」という要素の方が強くなっているため「実践型」の問題集であるといえます。双方のどちらが良いというわけではなく、活用方法次第で、どちらも効果的に得点力アップを図ることができますし、その逆もあり得ます。

ですから、「まずは問題集をどのように活用するのか」という点を明確にしてから、どちらの構成にするかを選びましょう。「この人は、どちらを選ぶべきか」の例を以下に示しますので、問題集選びの参考にしてください。

例1：テキストを購入する予定はなく、問題集1冊だけで合格を目指す人 → 構成A

例2：現在の實力(得点)はどの程度かを正確に把握したい人 → → → → → → → 構成B

例3：テキストで学んだ内容を問題集に反映しながら学習したい人 → → → → 構成A

例4：答え、解説、ヒントなどが気になって、問題を解くが疎かになる人 → 構成B

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku\_boboya

 fukusitaisaku\_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

